



リフティングポイントシリーズ

RUD®



## バリオリング — 取扱説明書 —

- VWBG
- VWBG- (ロングボルトタイプ)



M8~M30

M36~M190

VWBG

VWBG  
ロングボルトタイプ

(安全にお使い戴くために  
本製品の使用期間中、本書は大切に保管して下さい。)

製造国 : ドイツ  
 製造者 : RUD Ketten Rieger & Dietz GmbH u. Co. KG  
 本体材質 : ニッケルクロムモリブデン鋼  
 ボルト強度区分 : 10.9

各種お問い合わせ先

RUD® 株式会社  
ルッドリフティングジャパン

〒547-0001 大阪市平野区加美北9-7-14 TEL:06-6795-6717 FAX:06-6795-6718

ホームページ <http://www.rud.co.jp/>

2014.04

**このたびはRUD社製リフティングポイントシリーズを  
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書を熟読のうえ、正しく安全にご使用ください。**

- 取扱い及び点検は定められた資格をもつ方が実施して下さい。
- 使用前、及び使用後は必ず目視点検を実施してください。その際、腐食、磨耗、溶接部のひび割れ、形状変化の形跡に特に注意を払ってください。ボルトのネジ山が、ネジ溝と合致することを確認してください。
- リフティングポイントが設置される相手側構成には、吊り上げ中に形状が変化しない十分な強度が要求されます。取り付け部の強度をご確認ください。  
(ドイツの代表的試験機関であるBGは、以下をボルト長さまたはサイズの最小値として推奨しています)  
 鋼鉄: 1倍(標準長さ) × M(下限品質S235JR [1.0037])  
 鋳鉄: 1.25倍 × M(例GG25)  
 アルミニウム合金: 2倍 × M  
 アルミニウム-マグネシウム合金: 2.5倍 × M  
 (M = ネジサイズφ, 例:M20)  
 軽金属、非鉄重金属とネズミ鋳鉄を吊り上げる場合、それぞれの基材の要求に対応するボルトネジの使用荷重などに従って、ボルトサイズを選択してください。
- リフティングポイントを吊り上げ対象物上に配置する際、吊り上げ中に移動しないように取り付けてください。  
 a.) 1点吊り上げの場合、リフティングポイントは吊り上げ対象物の荷重中心上に設置してください。  
 b.) 2点吊り上げの場合、リフティングポイントは吊り上げ対象物の重心から等距離、あるいは中心荷重上に配置してください。  
 c.) 3点、4点吊り上げの場合、可能であれば、同平面上の重心を中心に対称となるように配置してください。
- 荷重対称性:  
個々のルッド社製リフティングポイントの使用荷重は、対称荷重に基づき、以下の公式にて算出可能です。

WLL = 使用荷重  
 G = 荷重 (kg)  
 n = 吊り荷点数  
 β = 垂直に対するチェーン傾斜角度

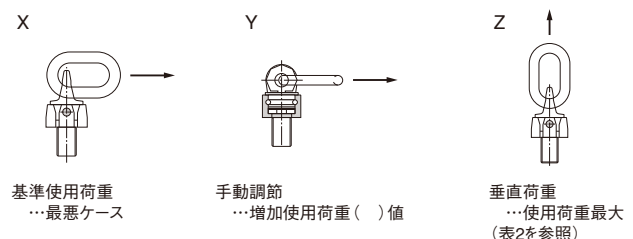
$$WLL = \frac{G}{n \times \cos \beta}$$

荷重負荷点数と連動する荷重計算は以下の通り:

	対称	非対称
2点吊り上げ	2	1
3、4点吊り上げ (表2を参照)	3	2

- 加工部材にドリルで穴を開け、ネジ山を切ることで、加工部材の表面に、VWBGが垂直に設置可能となります。VWBGボールベアリングハウス(本体座面)を密着させる為に、加工部材の表面が水平であることが不可欠です。ネジ山を切った穴(ネジ山の基準直径+4mm未満)を皿穴にしてください。
- ボールベアリングであるため、スパナを使用し手動での固定が可能です。延長バーを使用する必要はありません。長時間使用する際には、VWBGは表1に示されるトルクで締め、固定してください(±10%)。
- VWBGは、荷重を回転し、反転するように設計されています。従って、リフティングポイントを任意の位置に設置することが可能です。そのため、発生しうる最悪のケースに備えるために、使用荷重が刻印表示されています(図X、表2を参照)。

リングを手動で引張り方向に合わせることが可能です(図Y)。  
表2のカッコ内の値が使用されます。



VWBG 1

VWBG 2

